

静岡県内市町の地域コミュニティ・協働事例

富士市・「『これからのまちづくり協議会』検討会」

熱論飛び交うワークショップ！地域の「いいところ探し」で地域力アップ

富士市では、おおむね小学校区を範囲として平成26年までに「まちづくり協議会」が設立されており、平成28年11月1日には、まちづくり協議会を明確に位置づける「富士市地区まちづくり活動推進条例」を施行予定です。

その「まちづくり協議会」の設立を住民に提言した「まちづくり活動推進計画」（「地域の力こぶ増進計画」）が、今年で最終年を迎えることから、「『これからのまちづくり協議会』検討会」で市民と市が対話するワークショップが市内3エリア・連続三回で開かれるそうです。

今回は、「南部・西部ブロック」対象の第1回の様子をお伝えします。

<検討会の流れ>

第1回：「いいところ探し」で地域の「良いところ」を共有する

今回はココです！

第2回：第1回で出た「良いところ」の裏側にある「地域課題」をあぶりだす

第3回：「課題」に基づき、必要な支援策を考える



<第1回のワークショップの流れ>

- ①地区ごとに分かれて、地区の「いいところ」を出し合う。
- ②意見として出された「いいところ」について、テーマ別で集まってほかの地区と共有する。
- ③どんな意見が出たのか発表する。

開催は夜間でしたが、会場には地域の皆さんの熱論が飛び交っていました。

意見は多く出ており、地区ごとの「いいところ」「工夫」が地域間で共有され、参加者の方は熱心にメモを取っていました。



地区の「いいところ」は盛り沢山



テーマごとに意見を共有



みなさん熱心に聞いています

出された意見の一部をご紹介します。あなたの地区でも参考にしてください！

「まちづくり協議会会長と自治会長は、兼務すると大変なので別の人を立てている」

「地区に関する作文や標語を子どもから募集して、表彰している」

「アパートの住民が孤立しないよう、土日に交流イベントを開いている」

「まちづくり協議会の役員には、自治会役員OBの力も借りている」

編集後記

熱心に話す地元の方はもちろんですが、富士市内の高校生も見学に来ていて、富士市のポテンシャルを感じる時間でした。第2回・第3回の展開が楽しみです。